

## 活動報告：JIMTEF 災害医療研修に参加して

社会局 災害対策部

古賀 翔

### ○活動目的・背景

福岡県においては風水害が毎年のように起こり、災害の脅威が近づいていることを感じる昨今、2022年に福岡 JRAT が組織化されました。当会でも2017年より災害対策を事業化し活動を進めております。

今回参加したJIMTEF(公益社団法人国際医療福祉財団)災害医療研修は、災害医療に関する技術と知識を有する医療関係者の育成を図ることを目的に開催されております。全国では2022年度までに2516名の医療関係者が、STでは226名が履修済みです。当会では、これまでにベーシックコース履修者5名、アドバンスコース履修者1名という状況でした。

私は3年前に県士会理事に就任したと同時に、災害対策部を拝命しました。これまでに災害や災害リハビリについての経験は皆無で、右も左もわからない状態で昨年度ベーシックコースを履修し、今年度アドバンスコースに参加させていただき運びとなりました。

### ○参加者

全国より36名が参加しました。

職種は、ST、PT、OT、精神科医、管理栄養士、柔道整復師、鍼灸師、臨床心理士、薬剤師、救急救命士、義肢装具士でした。

### ○活動内容

2023年9月17～18日 JICA 東京

9月17日

演習1 「発災から急性期の対応①」

演習1 「発災から急性期の対応②」

演習2 「避難所運営ゲーム (HUG)」

9月18日

演習3 「避難所・地域アセスメント」

演習4 「災害食の実際」

演習5 「本部運営実習」

### ○成果

ベーシックコースでは、災害の基礎知識や災害時の実際の支援などの事例を通し医療者としての役割や心構えなど知識を学ぶことができました。今回のアドバンスコースでは、実践的な演習を通し災害支援チームの一員としての動きや避難所を運営する側のロ

ールプレイ、災害対策本部の運営などを経験することができました。

#### ○所感

災害対策に関わるようになり、これまで座学での災害研修に参加をしてきました。3年前より知識や聞きなれない語（例えば、CSCATTT,DMAT,JRAT など）にもようやく慣れてきた自信はありましたが、今回の演習では驚きと発見が多くありました。

HUG（ハグ）という避難所運営ゲームでは、クロノロジーを担当し発災後避難所で起こる様々な出来事を時系列毎に書記していきます（写真）。避難者の入出や本部からの連絡、支援物資の到着予定、避難生活に関わる諸問題など次から次に情報が舞い込んでくるため、運営側はパニック状態でした。運営をするということの大変さを経験し、支援チームとして避難所を巡回する際は避難者の支援はもとより、運営されている方々の支援や配慮を行うことの重要性を学ぶことができました。

災害はいつどこで起こるのかわかりません。支援側の時もあれば受援側となる時もあります。どちらの場合でも即座に的確に対応できる準備がまだまだ必要と感じております。

#### ○今後の予定

##### (1)災害研修会

→今年度からは、理学療法士会、作業療法士協会、言語聴覚士の三士会合同事業として準備を進めております。近日中に案内をいたしますので、ご興味がある方はぜひ参加ください。

##### (2)福岡 ST 災害つながる一む



→災害時の安否確認、緊急連絡用ツールとして LINE オープンチャット「福岡 ST 災害つながる一む」を開設中です。現在 129 名の方が登録中。全会員の登録を目標としておりますので、まだ登録お済みでない方はぜひご登録ください。左のバーコードを読み取って登録ください。

